

2025年7月31日
北海道電力株式会社

2025年7月31日 社長会見要旨

資料のご説明に入る前に、7月23日に電力・ガス取引監視等委員会から受けた業務改善勧告について一言申し上げます。本件は、当社従業員が、北海道電力ネットワーク作成の非公開情報を含む資料を所持・閲覧し、発電事業の業務に利用した事実が認められたものです。電力自由化における公平、公正な競争を前提とした事業運営の根幹を揺るがしかねない行為と重く受け止めており、地域やお客さまとの信頼関係を損なう事態を招いたことを深くお詫び申し上げます。今後、電力・ガス取引監視等委員会からの業務改善勧告に真摯に対応するとともに、行為規制の法令遵守に係る新たな監視・監督体制のもと、徹底した再発防止に努めてまいります。

【会見要旨】

それでは、本日は、「2025年度第1四半期決算」、「泊発電所3号機の原子炉設置変更許可」についてお話しします。

【2025年度第1四半期決算】

はじめに、「2025年度第1四半期決算」について、お手元の資料に沿ってご説明します。

2ページの上段「経営成績」の表をご覧ください。売上高につきましては、他社販売電力量の増加はありましたが、小売販売電力量の減少などにより、前年同期と同程度の2,024億円となりました。経常利益につきましては、燃料価格などの低下に伴う燃料費等調整制度の期ずれ差益の拡大や、水力発電量の増加に伴う燃料費の減少などにより、前年同期に比べ84億円増加の416億円となりました。これは2020年度第1四半期以来、5年ぶりの減収増益決算になります。なお、期ずれ影響のイメージにつきましては、17ページに掲載しておりますので、後ほどご覧ください。また、四半期純利益につきましては、経常利益の増加はありましたが、特別利益に計上した核燃料売却益の減少などにより、前年同期に比べ4億円減少の307億円となりました。2024年度第1四半期から2年連続の減収減益決算となり、経常利益は過去第2位、四半期純利益は過去第3位となります。続いて2ページ下段「財政状態」の表をご覧ください。自己資本比率は前年度末に比べ、1.3ポイント改善し、18.8%となりました。

以上、2025年度第1四半期決算の概要をご説明しました。

4ページをご覧ください。2025年度通期の連結業績につきましては、至近の動向

を踏まえ、4月30日に公表した連結業績予想を修正いたしました。売上高につきましては、卸電力市場価格の低下に伴う他社販売電力料の減少などにより、4月公表値に比べ350億円減少の8,630億円程度となる見通しです。経常利益につきましては、売上高の減少はありますが、卸電力市場価格の低下に伴う電力調達費用の減少などにより、4月公表値と同程度の400億円程度となる見通しです。当期純利益につきましても、4月公表値と同程度の260億円程度となる見通しです。

4ページの表の中ほどをご覧ください。2025年度通期の小売・他社販売電力量につきましては、概ね4月公表時の想定通りに推移していることから、4月公表値と同程度の343億kWh程度となる見通しです。

8ページ以降に当第1四半期決算および業績予想に関する経常利益の前年度からの変動要因などを、参考資料としてまとめておりますので、後ほどご覧ください。

最後に、配当予想についてご説明いたします。6ページをご覧ください。2025年度の配当予想につきましては、前回公表した予想から変更はございません。

2025年度第1四半期決算の概要は以上です。

【泊発電所3号機の原子炉設置変更許可】

次に、資料はございませんが、泊発電所3号機の原子炉設置変更許可について申し上げます。当社は、昨日30日、原子力規制委員会から、泊発電所3号機の原子炉設置変更許可をいただきました。泊発電所3号機は、2013年7月8日に「泊発電所の発電用原子炉設置変更許可申請書」を原子力規制委員会へ提出して以降、新規規制基準の適合性審査を受けてきました。

この度、いただいた許可は、泊発電所3号機の安全対策に関する基本方針や基本設計が新規規制基準に適合しているとのことご判断をいただいたものであり、再稼働に向けた大きな節目であると受け止めています。申請から12年以上にわたり、審査に携わっていただいた原子力規制委員会の皆さま、泊発電所に関係する皆さまに心よりお礼申し上げます。当社は、引き続き、泊発電所3号機の2027年のできるだけ早期の再稼働を目指し、「設計及び工事計画の認可申請」「保安規定変更認可申請」に係る審査への対応や、新たな防潮堤などの安全対策工事に総力を挙げて取り組んでまいります。

再稼働に向けては、立地地域をはじめ道民の皆さまのご理解が大切であると考えております。現在、泊発電所の必要性や安全対策などに関して、後志管内20市町村および道内各地の当社支社所在地で説明会の実施に向けた準備を進めています。一人でも多くの皆さまからご理解いただけるよう、あらゆる機会を捉え、情報発信に

努めてまいります。

泊発電所の安全性向上の追求に終わりはありません。さらなる安全性向上に向けた取り組みや各種訓練の充実を図るなど、不断の努力を重ねることにより、世界最高水準の安全性を目指してまいります。

私からは以上です。